

教科・科目		単位数	対象学科・学年・クラス		備考
商業	ビジネス情報	3 単位	流通経済科	2 年 2 クラス	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。 2 ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなどエンドユーザコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。
使用教科書	ビジネス情報 (東京法令出版)
副教材等	Excel で学ぶ全商情報処理検定テキスト 1 級ビジネス情報部門 (実教出版) 情報処理検定模擬試験問題集 1 級ビジネス情報部門 (実教出版)

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	1 年時の復習	2 級検定問題を中心に、関数の確認をする。 実技、筆記問題の両方に取り組みさせる。
	第 1 章 オフィス業務と情報通信ネットワーク 第 1 節 業務の情報化 第 2 節 情報通信ネットワークの導入と運用 第 3 節 データの保護 第 1 章 表計算ソフトウェアの活用 第 1 節 ビジネス計算 第 2 節 データの集計・分析 第 3 節 オペレーションリサーチの基礎 第 4 節 手続きの自動化 第 3 章 データベースソフトウェアの活用 第 1 節 ビジネスとデータベース 第 2 節 基本的なデータベースの作成 第 3 節 発展的なデータベースの作成 第 4 節 SQL 第 4 章 ソフトウェアを活用したシステム開発 第 1 節 アルゴリズム 第 2 節 表計算ソフトウェアの活用 第 3 節 ソフトウェアを活用したシステム開発	模擬問題集を中心に解説をし、問題を解かせる。 語句の小テストを繰り返して、記憶の定着を促す。 計算問題は解法を理解させる。 1 級範囲の関数に取り組む。例題を解説し、練習問題の実習をする。 数学/三角、統計、検索/行列、データベース、文字列操作 DBMS の機能について理解させる。 SQL のデータ記述方法を解説し、問題を解かせる。 1 級範囲の関数に取り組む。例題を解説し、練習問題の実習をする。 関数の入れ子 模擬問題を使用し、検定問題の傾向を知る。
2 学期	1 年時の復習	2 級検定問題を中心に、関数の確認をする。 実技、筆記問題の両方に取り組みさせる。
	検定対策	語句、関数等暗記問題は小テストによる反復練習。 模擬問題の反復練習をし、理解させる。
	Excel 実習	実習を通じて 1 学期に学んだ知識の定着と活用を目指す。 様々な実習問題に取り組み、ビジネスでの応用が出来るようにする。
	検定対策	1 月の検定に向けて、模擬問題の反復練習をし、理解させる。
	検定対策	語句、関数等暗記問題は小テストによる反復練習。 模擬問題の反復練習をし、理解させる。
	Excel 実習	実習を通じて 1 学期に学んだ知識の定着と活用を目指す。 様々な実習問題に取り組み、ビジネスでの応用が出来るようにする。
	検定対策	1 月の検定に向けて、模擬問題の反復練習をし、理解させる。
3 学期	検定対策	筆記試験対策、弱点を強化する。 過去問題に取り組み、時間配分を意識させる。
	問題解決手法の活用実習	問題解決手法の演習問題に取り組み、プレゼンテーションをおこなう。 プレゼンテーションの基本的な技術について理解させる。
	検定対策	筆記試験対策、弱点を強化する。 過去問題に取り組み、時間配分を意識させる。
	問題解決手法の活用実習	問題解決手法の演習問題に取り組み、プレゼンテーションをおこなう。 プレゼンテーションの基本的な技術について理解させる。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	・様々な情報処理システムの意義や役割について自分から進んで学ぼうとしている。 ・データの分析方法について関心を持ち、表計算ソフトウェアの機能を利用した実習に積極的に取り組み知識・技術を身につけようとしている。	実習への参加態度 出席状況
思考・判断	・企業の業務におけるコンピュータの効率的な活用について考えることができる。 ・情報モラルやマナーに関する正しい判断や好ましい職業観に基づいた適切な行動が取れる。 ・財務情報や販売情報の分析結果から企業の財政状態や経営成績、販売成績などを考察し説明することができる	中間考査・期末考査の中の実習に関連する問題
観察・実験の技能・表現	・集計やシミュレーション、ゴールシーク、ソルバー、回帰分析、ヒストグラムなどの分析手法や操作方法を身につけている。 ・データベースソフトウェアを活用してデータベースのテーブル、クエリ、フォーム、レポートを作成することができる。	実習ファイル
知識・理解	・データのグラフ化の意義や活用方法を理解している。 ・散布図の利用方法やこれを用いた回帰分析の目的・方法を理解している。 ・データベースの役割、しくみ、構造やリレーションシップの意味が説明できる。	中間考査・期末考査の知識・理解に関する問題 授業中の小テスト